

ごみ運搬車 名産品が彩り



環境の大切さなどを訴えるデザインが施されたパッカー車と、考案した三戸高校生ら

三戸高クリエイティィ部×三戸清掃社

三戸町の三戸高校（直町年行校長）クリエイティィ部の生徒5人は、同町の三戸清掃社（足澤光国社長）とコラボレーションし、オリジナルデザインのパッカー車（ごみ運搬車）を完成させた。町の名産品などを取り入れたデザインを施し、ごみ分別や環境意識の大切さを訴えている。（藤田幸雄）

同校は2023年度にクリエイティィ部を新設し、コピーライティングやイラスト、デザインなどの情報発信の基礎を学んでいる。今回のコラボは同校の地域連携プロジェクトの一環で、同社からの依頼を受け、5月から生徒たちが車体のデザイン作成に取り組んでき

分別や環境の大切さ訴え

同校駐車場で19日、完成したパッカー車がお披露目された。車体の右側面には、町名産のリンゴやトマト、サクランボ、せんべいが美しく描かれ、「環境も三戸町もみんな大切な大切」とのキャッチコピーが添えられた。反対側にはさまざまなかわいらしい動物たちが描かれるなど子どもたちの興味を引くように工夫され、「めざせ分別マスター！」とのメッセージが掲げられた。

3年生の上田和奈さんは「イラストが描かれた清掃車を見た子どもたちが、一体どんな車なのか興味を持つきっかけになつてくれればうれしい」。同校の卒業生である同社の足澤光里さん（33）は「かわいく仕上げてもらった。地域の人たちが清掃車のイメージを変え、ごみ分別の重要性について考えてもらえれば」と期待を寄せた。